

# はままつ 市議会だより

第182号

令和2年1月20日

身近な市議会を目指して



## もくじ contents

◎11月定例会のあらまし	P2
◎可決した主な議案・意見書	P3
◎常任委員会の状況	P4
◎代表質問	P5
◎一般質問	P5

「瀧」 日本画(屏風)

1956年 鈴木三朝 作

～浜松市美術館 新収蔵品展より～

市議会のくわしい情報、会議の映像は  
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索

スマートフォンはこちらから →



**11月**  
定例会

# 一般会計10億1500万円の補正予算を可決

## 豪雨対策として浸水被害の防止・軽減工事に重点

11月定例会は、11月22日から12月19日までの28日間にわたって開催しました。

11月22日の本会議では、元年度一般会計補正予算など計51件の市長提出議案を上程し、市長からの提案理由の説明の後、所管の各常任委員会に審査の付託をしました。続いて、請願2件を上程し、紹介議員の趣旨説明の後、所管の常任委員会に審査の付託をしました。

また、職員などの給与改定に関する4件の市長提出議案を追加上程し、常任委員会の審査を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

12月6日の本会議では、2会派の代表議員が代表質問、3人の議員が一般質問を、また、9日・10日の本会議では、9人の議員が一般質問を行い、市政の諸課題について市の考えをたしました。

12月19日の本会議では、各常任委員長から審査の経過と結果が報告され、採決した結果、市長提出議案51件はいずれも原案のとおり可決し、請願2件はいずれも不採択となりました。また、議会提出議案として意見書5件を可決しました。

### 新年の御挨拶

浜松市議会議長 柳川 樹一郎

新年明けましておめでとうございます。新天皇陛下が即位され「令和」となって初めてのお正月です。皆様におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より浜松市議会に深い御理解と御支援・御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、本市は国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、環境にやさしいまちづくりなどに取り組む「未来都市」に選定されています。SDGsとは全世界すべての人たちから貧困をなくし、持続的に平和に暮らすための17の開発目標のことです。本市が推進するSDGsの取り組みの中には、「林業の成長産業化」などが掲げられ、昨年9月に浜松市長が国連本部で行った演説でも「浜松市の世界に誇る地域資源をフル活用し、多様な団体と連携してSDGs達成に向けて取り組んでいく」と報告されました。本市の地域資源である杉やヒノキが国際規格FSC認証材として、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの競技場や選手村に使用されていることを皆さんに知っていただくとともに誇りに思っていたきたいと思います。

未来浜松がますます発展し、活力に満ち溢れ、平和で穏やかな街になるよう、議員一同尽力してまいります。本年もどうぞよろしく願いいたします。



- 〔11月〕  
22日 本会議（11月定例会開会・議案上程）  
総務委員会  
市民文教委員会
- 〔12月〕  
5日 議会運営委員会  
6日 本会議（代表・一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）  
10日 本会議（一般質問）
- 11日 各常任委員会
- 18日 議会運営委員会  
19日 行財政改革・大都市制度調査特別委員会  
本会議（採決・11月定例会閉会）
- 23日 厚生保健委員会  
地方創生調査特別委員会

議会活動の経過

## 可決した主な議案

### 《 予算 》

#### 元年度一般会計補正予算

- ◆通行どめとなっている市道須部灰の木線のり面の修繕と再発予防工事 2億5000万円
  - ◆豪雨により浸水する可能性がある流域の河川の浚渫<sup>しゅんせつ</sup>などの対策工事 (下図参照) 2億3000万円
  - ◆小学校2校、中学校5校に新たに発達支援学級の教室を整備 2217万円
  - ◆障害に関する専門的な相談や訪問相談など体制を充実強化するための相談支援事業所の再編 656万円
- など総額10億1500万円の増額

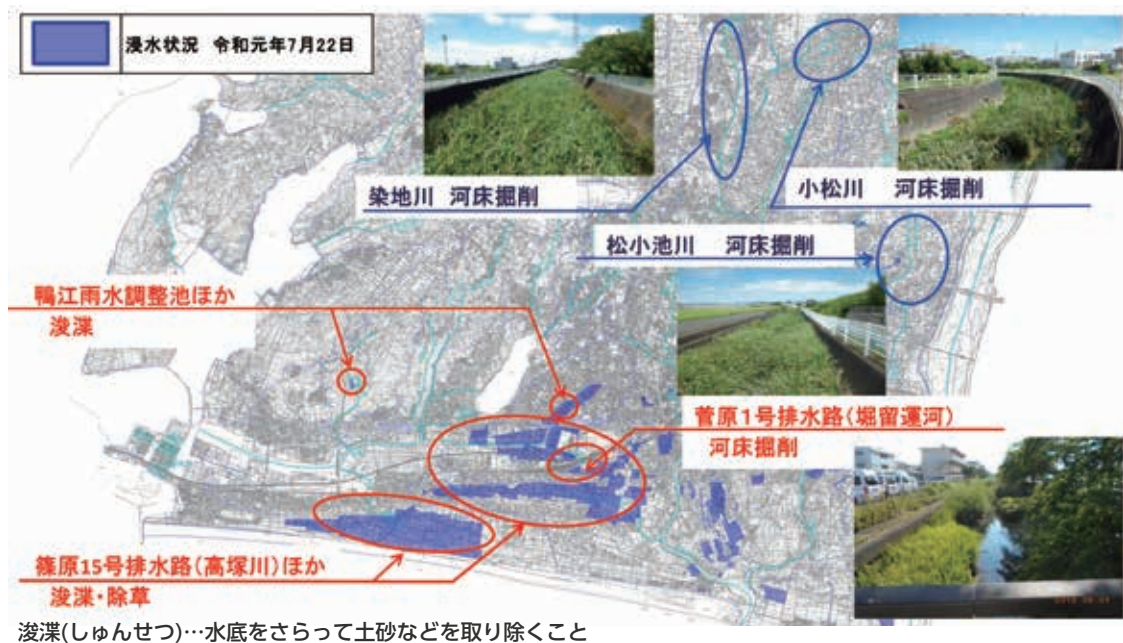
### 《 条例 》

#### 再生可能エネルギー事業者の責務を明確化

- 適正な再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例の制定
- 太陽光発電や風力発電の施設を設置する事業者や土地所有者などの責務を明確化します。事業者は説明会などにより、計画の内容を近隣関係者へ周知し、理解を得るよう努めなければなりません。

#### 中央卸売市場の卸売業務に関する事項を整備

- 中央卸売市場業務条例の一部改正
- 卸売市場法の改正に伴い、市の権限となる卸売の業務の許可に関する事項などを定めます。



## 可決した意見書

意見書とは、国や県等が実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆新たな過疎対策制度の創設を求める意見書
- ◆消防防災ヘリコプターの公的パイロット養成機関の設置を求める意見書
- ◆教育予算の拡充等に関する意見書
- ◆「おおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書
- ◆認可外保育施設における保育の質の確保・向上に関する意見書

# 常任委員会の状況

12月11日に開催した各委員会での審査の概要です

## 総務委員会

●ケーブルテレビ広報番組制作業務について

【質疑】 ケーブルテレビ放送に對する、市民のアクセスのしやすさという面での課題は。

【答弁】 ケーブルテレビ放送は、視聴可能地域に偏りがあるということ課題として認識している。ただし、制作した番組は、ユーチューブの広報動画チャンネルでも配信しており、多くの視聴者がいることを確認している。

●市の施設間の文書送達業務について

【質疑】 配達する文書の量により委託料は変わるのか。

【答弁】 本庁、区役所、協働センターなどの80施設を4コースに分け、年間245日程度巡回して文書を配達する。日によって文書の量に違いはあるが、委託料は年額で設定していることから、文書の量によって変わることはない。

## 厚生保健委員会

●安心して医療が受けられ、健康が守られるように国民健康保険料の改善を求める請願

【多数意見】 国民健康保険と協会けんぽは制度の構造や加入者層が異なり、一概に保険料を比較できない。また、今後、医療費が増加し続ける一方で保険料収入の減少が見込まれ、国民健康保険の財政運営は今よりも厳しくなる。さらに、国民健康保険は広域化により県が財政運営の責任主体となっているため、本市だけでは課題解決は不可能である。

【少数意見】 協会けんぽ並みに保険料を引き下げすることは、市民の医療を確保し、健康を守る上で非常に大きい。また、本市の保険料の減免に関する運用基準は厳しいので、他の自治体の事例を分析して運用の見直しを検討すべきである。

【委員会の結論】 賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

## 環境経済委員会

●適正な再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例の制定について

【当局説明】 事業者に対して、地域住民や地縁団体などの近隣関係者に、設置事業開始前までに説明会の開催などの方法による周知を義務づけ、周知に当たっては事業計画の内容について理解が得られるよう努めることとしている。

【質疑】 周知を行う中で、事業者と近隣関係者とが同意書などを締結することは可能か。

【答弁】 太陽光発電施設設置に関するガイドラインでは、維持管理に関して、地域住民と協定書などにより合意した事項がある場合、それを遵守することとしており、同意書などの締結は可能である。条例施行に際しては、条例の趣旨内容についてチラシなどで周知し、窓口などに来る事業者にも説明していく。

## 建設消防委員会

●安間川公園、ゆたか緑地、ゆたか第2緑地の指定管理者の指定について

【質疑】 新たにゆたか第2緑地に指定管理者制度を導入した理由は。

【答弁】 ゆたか緑地と一括して管理することにより、これまで公園管理事務所で行っていた施設の利用申し込み対応が、ゆたか緑地に隣接する管理事務所に一本化される。また、管理事務所での利用の調整や現場の状況把握もできることから、市民サービスの向上が期待できるためである。



ゆたか第2緑地

## 市民文教委員会

●子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

【意見】 子供たちの教育環境の向上を図る取り組みは重要だが、市内には140を超える小・中学校があることから、学校の老朽化対策やトイレの洋式化には段階的に取り組まざるを得ない現状がある。また、教育費の保護者負担軽減については、生活困窮家庭に対する援助が既に実施されており、約6万人に及び全児童・生徒の学校給食費を無償とするためには毎年約39億円が必要となることから、財源の確保に課題がある。さらに、請願項目の中には国が制度設計を行うべきものが含まれるほか、子供の貧困の問題も絡んでくるため、行政だけでなく、地域や企業なども含めた支援体制が必要である。

【委員会の結論】 賛成なしで不採択とすべきものと決定した。

# 代表質問

12月6日には、各会派を代表して2人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松  
高林 修

**区再編は合区にこだわらないとした理由は**

**質問** 区再編の住民投票後、市長は合区にこだわらず、ほかの線引きもあると述べているが、合区という前提を変えたのはなぜか。また、新たな案で住民投票を行う考えはあるか。

**答弁**

コミュニケーションのまとまりと活動実態に配慮して現行区を分割しないことを前提に、住民投票では合区による3区案を提案した。その後、3区案は反対多数、3年1月1日までの再編への賛否は拮抗との投票結果を踏まえ、区再編を進めるためには合区にこだわら



越水による裏側のり面浸食への対策が望まれる天竜川堤防

ず、区域の見直しも含めて柔軟に対応したいと考えたものである。また、現時点で改めて住民投票を行う考えはなく、今回の投票結果を尊重し、3年1月1日までの再編を一つの目安として、市議会と真摯に協議していく。

**その他の質問**

- ① スズキ株への補助金交付の判断は
- ② 次世代のために積極的な予算投資を
- ③ 河川整備における国・県・市の連携は



市民クラブ  
鈴木 唯記子

**市民が災害時に求める情報の迅速な提供を**

**質問** 災害発生時に、道路冠水や通行規制の状況など、市民が求める情報を迅速に提供できているか。また、今後の取り組みはどうか。

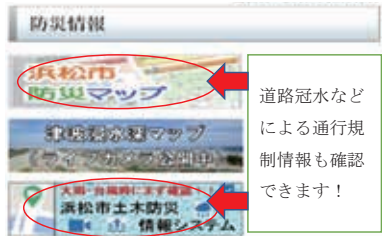
**答弁**

避難勧告など緊急性の高い情報は、緊急速報メールや防災ホッケー、テレビやラジオで配信している。そして、逐次ホームページやSNSで情報発信するとともに、報道機関へも伝達している。また、道路冠水などによる通行規制情報については、現場確認の後、防災マップに表示していたが、今後はホ

ームページの緊急情報なども活用し、情報提供していく。さらに、携帯端末で現場から直接配信するなど、道路の通行規制情報をより早く配信できる手法を検討し、市民が必要とする情報を迅速に提供できるように努めていく。

**その他の質問**

- ① 学校の健診時に発達相談や検査の実施を
- ② 食品ロス削減のため持ち帰りの啓発を
- ③ 競技者も観客も満足できる施設整備を



本市ホームページの「防災情報」画面

道路冠水などによる通行規制情報も確認できます！

# 一般質問



遠山 将吾  
創造浜松

**慰霊碑・慰霊塔などの適切な維持管理を**

**質問** 戦没者の慰霊碑などの管理の現状や課題はどうか。また、関係団体と課題を協議するプラットフォームを設立する考えはないか。

**答弁**

平成30年度の調査では、民間団体などが建立した慰霊碑などは194基で、そのうち管理者が不明なものが109基あり、戦後70年が経過し、管理そのものが行き届かなくなっているものもあることがわかった。管理状況が不良の慰霊碑などの移設や埋設には、国の補助制度が設けられているが、対象条件が厳しい

ことから、利用しやすい制度となるよう引き続き国に要望していく。また、遺族の高齢化に伴い、維持管理が難しいとの声もあるため、今後、遺族会や関係団体から、慰霊碑などの管理について意見を聞く場を設けていく。

**その他の質問**

- ① 関係団体などと連携し再犯防止の推進を
- ② 人口減少対策のための専門部署の新設を
- ③ 官民で鉄道・バス接続環境向上の検討を



移設・集約された忠魂碑の例(神奈川県秦野市)

# 一般質問

12月6日、9日、10日には、12人の議員が質問を行いました



幸田 恵里子  
公明党

## がん患者の社会復帰などのための補助事業を

### 質問

がん患者の社会復帰や在宅療養生活を支援するため、ウィッグや乳房補整具、居室サービスや福祉用具などに対する補助事業を実施する考えはないか。

### 答弁

本市では、がん対策推進計画において、がんになっても安心して暮らせる地域社会の構築を目指し、がん患者の外見の変化による苦痛を軽減するケアを含め、就労支援や在宅療養環境の充実に取り組んでいる。

元年8月にがん診療連携拠点病院のがん患者やその家族、医療従

事者に対し、補助事業についてのアンケート調査を実施したところ、生殖機能温存、医療用補整具購入、若年がん患者在宅療養について支援の必要性が高かったことから、補助事業の実施について前向きに検討していく。

### その他の質問

- ① 医療ケアを要する人の避難場所の指定を
- ② 海岸や河川のプラスチックごみ対策を
- ③ 空き家対策として相続手続の啓発を



がん患者用ウィッグ



北島 定  
日本共産党浜松市議員

## 地域医療を担う病院の再編統合への考えは

### 質問

厚生労働省は、地域医療構想に基づき、再編統合の必要性があるとして市内病院を含む42の公立・公的病院のリストを公表し、県や各病院に結論を出すよう要請しているが、本市の考えはどうか。

### 答弁

市内では浜松赤十字病院、遠州病院、浜松労災病院が対象となったが、類似かつ近接する医療機関があるという一律の基準を選ばれ、地域の実情を考慮しない中で病院名が公表されたことに対し、関係者から異議が唱えられている。

いずれの病院も本市の救急医療体制に欠くことのできない二次救急病院として、また開業医の支援病院、災害時の救護病院として大変重要な役割を担っており、市としては県に3病院の重要性をしっかりと伝えていく。

### その他の質問

- ① 住民不安が根強いエリアに対する考えは
- ② スズキ(株)に交付した補助金の取り扱いは
- ③ 法改正に伴う子どもの貧困対策は



再編統合が必要とされた県内14病院の1つである浜松赤十字病院



平野 岳子  
自由民主党浜松

## 小・中学校トイレの洋式化を

### 質問

災害時に避難所となる小・中学校体育館のトイレの洋式化への対応はどうか。また、校舎・体育館トイレの洋式化の現状と整備方針はどうか。

### 答弁

現在、各避難所に配備している組立式トイレや和式を洋式化するアタッチメントなどは、水が使えない状況で使用するものであるため、洋式トイレが整備されていない体育館については、通常時でも使える簡易洋式トイレを配備していく。また、校舎棟トイレは、各トイレブースに

1台以上の洋式トイレを設置済みで、3年度末の洋式化率50%を目指し計画的な整備を進めていく。なお、体育館トイレは、簡易洋式トイレを活用しながら、校舎棟トイレ整備の進捗、地域の実情などを考慮し整備していく。

### その他の質問

- ① 過大規模校への教職員加配と施設拡充を
- ② 医療的ケア児への支援体制の充実を
- ③ 世代に応じた伝わる広報手段の検討を



学校体育館の和式トイレ



倉田 清一  
自由民主党浜松

消防ヘリコプターの  
早期運航再開を

**質問** 消防ヘリコプターの安全運航体制強化のため、国が2人操縦士体制を求めたことから、操縦士が1人である本市は運航を休止している。そこで、再開の見通しはどうか。

**答弁** 元年11月に採用した操縦士は、本市の消防ヘリコプター「はまかぜ」の型式限定資格を有していないことから、年度内の資格取得を目指している。これにより、「はまかぜ」を操縦できる操縦士が2人となり、運航を再開できる体制が整う見通しである。



消防ヘリコプター「はまかぜ」

そして、2年4月中旬には、上空からの情報収集や救急搬送など一部の緊急運航を再開し、8月ごろには、水難・山岳救助活動や、林野火災に対応するための空中消火などの本格的な航空消防活動ができる体制を目指していく。

その他の質問

- ① 自立電源で協働センタールの防災力強化を
- ② 先送りしない適切な道路舗装維持管理を
- ③ 企業誘致に向け新たな工場用地確保策は



齋藤 和志  
自由民主党浜松

ラウンドアバウトの導入で交通安全対策を

**質問** 交通量がふえている三方原・都田地域に、事故削減が期待できるラウンドアバウトを導入する考えはないか。また、新たに都市交通調査を実施する考えはないか。

**答弁** ラウンドアバウトでは、信号や一時停止が不要となり、速度抑制や出会い頭事故の削減につながり、交差点内の安全性が向上する。しかし、流入交通量が多い場合は円滑な処理ができないなどの課題もあるため、今後は交通量など必要な調査を行い、導入に向け



ラウンドアバウト (焼津市山の手環状交差点)

た検討を進めていく。また、交通施策の基礎となる都市交通調査は、直近で平成19年度に実施しているが、回答率の低下など課題が多いため、ビッグデータの活用も含め、県などと協議しながら実施に向け検討していく。

その他の質問

- ① 停電に備えた蓄電池購入への補助拡大を
- ② 空き家対策に独自の条例制定の考えは
- ③ 市街化調整区域建築物の売買基準緩和を



馬塚 彩矢香  
市民サポート浜松

プラごみゼロ宣言で積極的なプラごみ対策を

**質問** 市としてプラごみゼロ宣言を行い、市民と一体となってプラごみ対策を推進する考えはないか。また、市が配布する啓発物品を天然素材に変えていく考えはないか。

**答弁** プラごみ削減に向けては、ごみ減量の推進、分別の徹底、ポイ捨て禁止などのPRのほか、学校や地域での環境教育の推進により、市民への周知啓発を図っている。今後市民、企業などと連携し、海洋へのプラごみ流出防止に率先して取り組む必要があること

から、宣言に向けて検討していく。また、市の啓発物品については、プラごみ発生抑制の観点から、紙などの代替品を活用する方策もあるため、2年4月をめどに、啓発物品の調達に関する方針を定めていく。

その他の質問

- ① 豪雨に備え排水機場の管理体制の強化を
- ② 祖父母世代へ発達障がい理解促進を
- ③ 思春期教室で加齢による不妊の教育を



海岸で拾い集められたごみ



和久田 哲男  
自由民主党浜松

**成人年齢引き下げによる成人式への影響は**

**質問** 民法改正により、4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられる。そこで、本市で開催される成人式への影響はどうか。

**答弁** 現在の成人式は、20歳の若者を対象に、おおむね中学校校区単位の40地区で、地区自治会連合会、新成人の代表者及び市で構成する実行委員会により企画運営されている。地域で祝うことで、新成人が周囲へ感謝の念を抱き、地域にとっても若者を次代の担い手と認識することにつながっている。また、就職・

進学などで地域を離れた若者が、改めて浜松を意識する重要な機会となっている。

こうしたことから、4年度以降も、これまでどおり、20歳の若者を対象に、40地区の実行委員会により企画・運営していく。

**その他の質問**

- ① 早急にタイワンリスの防除対策を
- ② 三方原水圧力タンクの更新整備を
- ③ アクトシティ浜松の大規模改修の考えは



城北・和合地区での成人式



鈴木 恵  
浜松市政向上委員会

**生徒の多様性を尊重した校則に見直しを**

**質問** 中学校の校則では、女子の制服をスカートとするなど、生徒の多様性に合わないものも多いが、見直す考えはないか。また、校則をホームページで公表する考えはないか。

**答弁** 校則は、健全で円滑な学校生活を営むために各学校の責任において定められたものであるが、子供の実態や社会の変化に対応するよう常に見直すべきものと考えている。今後は、多様な価値観を尊重しつつ、より積極的に見直すよう促していく。なお、見直しの際には、

必要に応じて生徒の話し合いや保護者からの意見聴取などの方法を取り入れるよう指導していく。

また、地域全体で子供を育てるとの観点から、ホームページや学校だよりなどで校則の周知を促していく。

**その他の質問**

- ① 図書館を誰もが使える情報拠点に
- ② 政令指定都市初の気候非常事態宣言を
- ③ 化学物質過敏症の理解促進のため啓発を



代表的な男女別制服の例



神間 郁子  
自由民主党浜松

**コミュニティ・スクール導入への対応策は**

**質問** 2年度から約50校がコミュニティ・スクール実施校となり、6年度までに全小・中学校への導入を目指しているが、制度導入に向けた対応策はどうか。

**答弁** コミュニティ・スクールに設置する学校運営協議会の委員選定については、自治会や協働センターに相談できるよう関係者に要請している。また、協議会の運営に関しては、モデル校の取り組みを紹介するとともに、設置・運営方法を解説する教職員用の手引を作成し、全校へ配付する。

さらに、制度への地域の理解を促すため、「地域とともにある学校づくり」を進める制度であることを踏まえ、導入校の学区には、自治会を通じたリーフレットの回覧や出前講座の開催など、積極的な周知に努めていく。

**その他の質問**

- ① <sup>※1</sup>SSWの適正配置で子供への支援強化を
- ② 災害時の事前避難の重要性の周知を
- ③ 元城小跡の浜松城発掘調査の情報発信を



元城小跡での浜松城発掘調査





小野田 康弘  
自由民主党浜松

**大規模災害時の消防団員への連絡手段は**

**質問** 平成28年に消防無線がデジタル化されたことに伴い、一部の地域を除いて消防団員への出動指令は携帯電話によることとなった。

そこで、携帯電話基地局が被災し運用できなくなった場合は、どのように対応する考えか。

- その他の質問**
- ① コミュニティFMで災害時の情報発信を
  - ② 浸水対策としての用排水分離の方針は
  - ③ 老朽化が目立つ可美公園の適切な管理を



舗装用ブロックが浮き上がっている可美公園水泳場入り口付近

今後は、その活用も検討していく。

こうしたことからは、災害発生時には、携帯電話を含めた通信施設の状況を速やかに調査し、その被害状況に応じた伝達手段により、的確に消防団員に連絡していく。



鈴木 真人  
市民クラブ

**運営マニュアルの改訂で避難所の質の向上を**

**質問** 被災者の健康を

守り、その後の生活再建への活力を支えるため、国際基準であるスフィアを参考に避難所運営マニュアルを改訂し、避難所の質の向上を図る考えはないか。

**答弁** 本市では、避難所の生活環境改善に向けて、トイレや居住スペースの確保など、スフィア基準に近づけるための努力を行っており、避難所運営マニュアルにおいて、男女のトイレ設置割合は1対3を目標に設置するなど、スフィア基準の考え方を一部取り入れて

いる。

避難所運営マニュアルについては、今後もスフィア基準の趣旨を踏まえて必要な改訂を行うとともに、避難所運営にかかわる全ての人々がスフィア基準の考え方を共有できるように工夫していく。

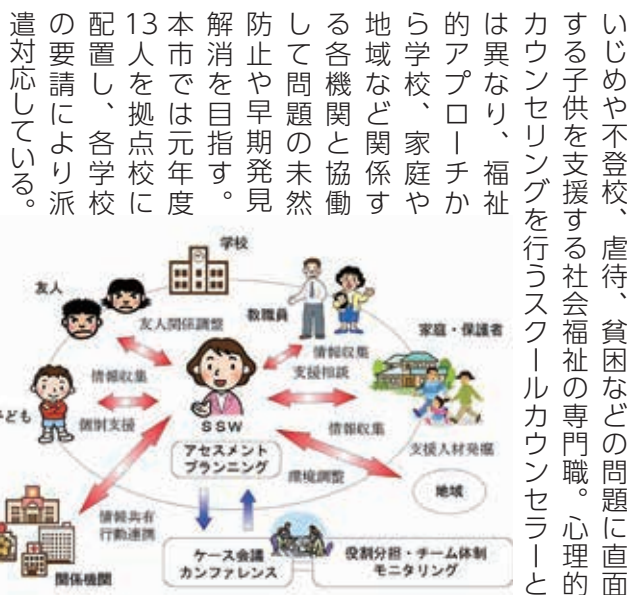
- その他の質問**
- ① 全ての世代が実感できるデジタル社会を
  - ② ムスリム対応で食における多文化共生を
  - ③ コミュニティ・スクールに日本語副名称を



コミュニティ・スクールモデル校でのボランティアによる授業支援(家庭科)

用語解説

※<sup>1</sup> SSW (スクールソーシャルワーカー) (8ページ)



※<sup>2</sup> スフィア (9ページ)

正式名称は「人道憲章と人道対応に関する最低基準」。災害や紛争などで人道支援活動を行う際の最低基準としてまとめられたもので、平成28年に内閣府(防災担当)が発行した「避難所運営ガイドライン」では、今後の我が国の避難所の質の向上を考えると参考にするべき国際基準として紹介されている。

# はままつ 市議会だより

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2  
編集／浜松市議会事務局  
印刷／株式会社アプライズ

浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。このほか、市議会ホームページでは会議録（本会議・委員会）なども掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gikai/>



1899（明治32年）、三重県津市すずきさんちように生まれた鈴木三朝（1899～1997）は、戦時中の疎開先であった浜松に定住し、市民芸術祭の審査員を長く務めるなど浜松ゆかりの作家として親しまれています。1940（昭和15）年より法隆寺金堂壁画模写事業に参加してからは、奈良の風景を題材とした作品を多く描いています。また海や川、そこに住む水の生き物は三朝の心を捉え、生涯を通して作品のモチーフとして登場します。この作品は再興第41回院展に出品した、三朝が56歳のときの作品です。堂々とした岩と激しく流れ落ちる水は、静と動の絶妙なコントラストを表しています。

浜松市美術館では2月25日（火）から3月26日（木）まで、近年美術館に収蔵された作品を展示いたします。さらに修復によってよみがえった、世界に誇るフランス近代絵画の傑作オディロン・ルドン（1840～1916）の「マドンナ」をお披露目し、絵画修復の様子も御紹介いたします。新しい年の幕開けに、ぜひ美術館にお越しください。

紙上美術館  
No.168



再生紙を使用しています

## 今後の議会活動の予定

〔1月〕  
22日 各常任委員会

〔2月〕  
6日 各常任委員会  
12日 議会運営委員会  
19日 本会議（2月定例会開会）

元年度関係議案上程）  
20日 各常任委員会  
26日 議会運営委員会  
27日 本会議（元年度関係議案採決・2年度関係議案上程・施政方針）

〔3月〕  
6日 議会運営委員会  
9日 本会議（代表質問）  
10日 本会議（一般質問）  
11日 本会議（一般質問）  
12日 各常任委員会  
13日 各常任委員会  
23日 議会運営委員会  
24日 本会議（採決・2月定例会閉会）

紙面に関するお問い合わせ  
浜松市議会事務局 調査法制課  
☎053-457-2513